

# J R 東日本労働組合

# N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2017年 6月28日 No. 214

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：篠原和幸

編集：情宣部

## 長野地本エルダ－協議会主催

## 「第2回エルダ－組合員&出向組合員の座談会」を開催!

6月17日に、長野地本エルダ－協議会主催の「エルダ－組合員・出向組合員座談会」を17名の組合員が参加し開催しました。昨年は長野で開催しましたが、今年は松本地区に働く組合員に多く参加してもらうため、松本で開催しました。座談会ではグループ会社における様々な現状が議論され、厳しい労働条件のもと仕事に従事することで、東日本ユニオンの組合員として意識することが少なくなってきたなど、参加者から率直な話が出されました。座談会で出された具体的な意見は以下の通りです。



- JR東日本の現業機関には技術力よりも「マネージメント力」を付ける事が重要視されている。
- 職場で問題が発生しても、組合役員に言うより現場長に直接言ったほうが、問題解決が早い。
- グループ会社で作業指示に問題が発生してJR本体に質問しても、回答が返ってこない。
- 作業の内容を理解していないJR本体工事責任者が、グループ会社に工事作業を指示している。
- 管理者はイエスマンが多くて困る。
- 組合の情報が入ってこない。

議論を通して、グループ会社への業務の丸投げの実体が明らかになりました。今の状況でJR東日本の将来が大丈夫なのか真剣に考える時代を迎えています。一方で、労働組合の存在意義や情報伝達などの課題もあることがわかりました。今後も定期的に座談会を開催していきます。様々な問題を丁寧に議論し解決を目指していきましょう。

## 全組合員が将来を見据え 問題克服に向け運動を創りだしていこう!!